

湯桶

◎ご使用に際して

無垢の木曾檜(ひのき)を使用しておりますので、水を吸ったり、乾いたりするたびに膨張と収縮を繰り返します。直射日光等による過度な乾燥や、長時間水に浸しておくことは、木の反りや収縮による割れの原因となりますので避けてください。

◎お手入れについて

・ご使用後は伏せた状態で斜めに立て掛け、水切りと風通しをしてください。黒ずみやカビが気になる場合は、湯あか洗い落とし水気をふき取った後に消毒用アルコール(エタノール)を霧吹きすると発生を抑えます。
・溝を彫って箍(たが)をはめ込むことで、外れにくくしています。それでもしばらく使っていないと、乾燥により箍や底板が緩むことがあります。箍を元の位置に戻し桶に水を張って置いておくと木が膨張し、箍と底板がはまります。

◎木ヤニについて

木の肌に油染みのようなものが出ることがありますが、これは木曾檜に含まれる天然の樹脂である木ヤニが、気候や保管の環境、または木の個性によって表面にじみ出たものです。耐水性や耐酸性の素で、人体には無害です。べとつきが気になる場合は消毒用アルコール(エタノール)で拭き取ってください。

◎修理について

未長くお使いいただくために、黒ずみの削り取りや箍の締め直しなど、各種修理を承っております。お気軽にご相談ください。

製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、ご購入店または左記までご連絡ください。

東屋

〒一五〇一〇〇三三

東京都渋谷区猿樂町五十四 #二〇六

〇三―六四三三―七九八二

contact@azmaya.co.jp

www.azmaya.co.jp

素材／木曾檜・目・銅 一産地／長野県木曾郡

製造／協栄木材 ❖ 山一 制作／東屋